

令和5年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

令和5年3月31日

令和5年度の基本方針

令和5年度は、3カ年計画（2022～2024年度）の2年目として、その諸施策を推進し、速やかかつ強力に、発酵、合成を問わず、安心安全で低廉な安定供給を実現する。

アルコール事業は、強靱な発酵サプライチェーン完成の要となる鹿島系列増強工事を完成させ、グループ営業との連携を密にし、市場の動向に柔軟に対応して安定供給を実現する。また、日本合成アルコール株式会社の安定操業及び価格適正化の動きを支援する。

関連事業は、顧客ニーズを吸い上げ、商品力、営業力の強化を図る。

また、新卒採用予定者の確保とグループ人事交流による人材活用を図るとともに、DXを推進し、情報基盤の安定的運用と充実を図り、新しい働き方に向けた職場環境整備に取り組む。

I . アルコール事業

■ 発酵アルコール

- 強靱なサプライチェーン完成の要となる鹿島工場の新系列工事を2023年度中に確実に完成し稼働させます。
- 鹿島工場新系列工事の完成に向けて、需要動向に柔軟に対応したサプライチェーンマネジメントを徹底します。
- お客様からの情報及び要望を理解し、商権の維持、拡大を図るとともに、販売用途拡大のため、酒類製造免許取得について検討を行います。
- ウルサン貯蔵設備や増強した原料タンクを効率的に運用し、工場への原料アルコール回送を、コスト低減を図りつつ安定的に実施できるよう取り組みます。
- FSSC22000の認証維持に取り組むなど、グループ品質管理体制の強化を図ります。

■ 合成アルコール

- ・ 販売数量の維持、拡大に努め、原料やエネルギー資源の高騰が継続する見込みのなか、合成アルコール市場の維持を図り、日本合成アルコール株式会社の安定操業と価格適正化の動きを支援します。

II . 関連事業

■ 発酵製品

- ・ 普通肥料の拡販に努めるとともに、化学肥料を含まない特殊肥料は、効果検証を行うことで既存商品の商品力強化を図り、拡販につなげていきます。
- ・ 土壌還元消毒資材については、重点攻略地区を定め、積極的な営業活動を行います。

■ アルコール製品

- ・ 手指消毒剤は、購入実績のある顧客をターゲットに営業力を強化し拡販を図ります。
- ・ 高付加価値差別化商品の開発を模索します。

Ⅲ. 技術力の強化

- 鹿島工場系列増強工事を技術吸収の貴重な機会と位置づけ、社員のプロセスエンジニアリングやメンテナンス技術力の向上を図ります。

Ⅳ. 人材力の向上

- 計画的な採用、グループでの教育訓練、研修、資格取得を通じ、人材力の向上を図るとともにグループ人事交流による人材活用を図ります。

Ⅴ. DX推進を通じた業務改革

- 情報システム研修等による人材育成を行います。
- 消費税制変更の的確に対応し情報システムの改修に取り組みます。

VI. 安定配当の継続

- 適正な営業利益の確保に努め、安定配当を継続します。

収支計画概要

以上の取り組みにより、令和5年度事業計画では、以下の目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

売上高	42,027
営業利益	632
経常利益	616